

しんがき

発行 岩見沢駐とん地
編集 堀 集
司令業務班 報
広 報

昭和五十六年度 隊務運営計画

決定

方針 群は、道北防衛に任ずる国境施設群たる認識のもと有事即応態勢を充実しつつ、防衛任務に直結した訓練を主軸とする隊務を運営し精強な部隊を練成する。

指導要領

- (1) 即応態勢の整備・充実
- (2) 防衛任務に直結した訓練の充実
- (3) 隊務運営基盤の充実

優秀賞に輝く

昭和五十五年年度団意見発表会において、本団中隊 市川 泰博二曹、地区施設隊 野元 武志二曹は、聴衆者に深い感銘を与え優秀賞に輝いた。

去る三月二十七日恵庭市民会館で実施された昭和五十五年年度団意見発表会は、団内各部隊が一同に集まるなか、各部隊二名の代表によつて競われたが、十二群代表の市川二曹、野元二曹は日頃の意見を堂々と述べ、団長から優秀賞を受けた。



転入者紹介

- | | |
|-----------|----------|
| 群本部 (苗穂) | 高野 敬吾 |
| 二佐 (釧路) | 近藤 哲弘 |
| 三佐 | 藤田 (名寄) |
| 第三〇四ダンプ中隊 | 中村 友勝 |
| 二尉 (防大) | 佐山 光紀 |
| 二尉 | 佐藤 (勝田) |
| 第三三六施設中隊 | 佐藤 浩 |
| 三尉 | 高野 (南恵庭) |
| 第三三五施設中隊 | 高野 (南恵庭) |
| 第三三七施設中隊 | 赤座 幸彦 |
| 三尉 | |

- | | |
|-------|-----------|
| 業務隊 | 東千歳 |
| 援護幹部 | 野中 勝男 |
| 一尉 | 野中 勝男 |
| 輸送班長 | 真駒内 (真駒内) |
| 二尉 | 川口 博身 |
| 庶務係 | 真駒内 (真駒内) |
| 三曹 | 斎藤 義則 |
| 出納主任 | 美唄 (美唄) |
| 事務官 | 杉本 守 |
| 行(一)5 | |

渡道一年 酒井良子

初めて親元を離れて淋しさ、これも初体験の官舎暮らしとに大いなる不安を抱き津軽海峡を越えて早や半年がすぎました。

全国的に冷夏の年でありました。千歳空港でタラップを降りながら、「さすが北海道、ずいぶんと冷めたいなあ」と感じました。

車窓よりの風景ものんびりしており、特に赤や緑のトンガリ屋根の家や広い牧場、サイロなど同じ日本でも北と南とでこうも違うものかと旅の疲れも忘れて見入ったものでした。

しかし、生活を始めてみて、物価の高いのと品薄とにビックリしました。北の魚は美味しいと聞いて来たのに、店頭を賑わしているのはやけに塩っぱいのや、鮮にまぶした魚ばかりとは、魚好きの父ちゃんに申し訳ないじゃない！

カニをいつばい食べようと張りつて来たのに！とブリブリ

でも、大の苦手のゴキブリ・ねずみの姿を見かけないのはゴキゲンだな。はえが多いのは気になるけどガマン、ガマン

初めて雪が降った時は、子供達も主人も珍らしがつて雪ダバマヤカマクラを作つて遊んでいました。が最近は一北海道の雪は卑法だ、眠つてゐる間に音もせんで降りよる。と、朝の日課となつた雪かきに訳のわからない文句をつけている。おかしくもある。

しかし、勤務・演習などで家をあけられるとお鉢が廻つて来るの

だから、やつぱり雪つて苦手なんだなあ。でも先日、なにげなく外に出て雪明りの景色に感動しました。あまりにもロマンチックな光景に寒さも忘れ、しばらく立ちつくした程です。

閉じ込められた生活の所為か、九州では三年がかりでも未完成のまま、だつた手編みのセーターも、今年はずでに四着目を数えました。渡道二年生になつたら、子供も手がかゝらなくなると思うので、スキでも習いたいなあと思つております。それにしても健康が第一と考へておりますので健康管理に充分気をくばり、新しい職場で頑張つてゐる主人にも安心して職務に邁進できるよう努力していきたくと決意を新たにしています。

第三〇四ダンプ車両中隊 二曹 酒井 健 一夫人



アイホーム計画は、ふんわりとあつた相談して...

夢は大きくて、いっけい。

季節の話題

ヒゲそり

青々としたヒゲそりあとで男の魅力満点。毎朝のヒゲそりで膚はさつぱり、気分そう快——こんな人は親に感謝すべきだといひます。それというのもヒゲそりが苦痛でたまらない。皮膚弱族が意外に多いからです。カミソリでそると血があちこちから出る。あとが痛くてたまらないし、悪化して、かさぶたが出来たりもする。こうしたカミソリまげはどうして起こるのか——不器用のせいと「断罪」されている人もあります。皮膚の弱い体質のせいともいわれます。皮膚の一番上は角膜といひ、生命力を失つた細胞がくっついていきます。その下には防御帯と呼ばれる層があり、外からの異物をさえぎります。カミソリは皮膚の弱い人は角膜の密着性が弱くはがれやすい上に防御帯に割れ目が出来やすいのです。せつけん分などがそこから侵入して痛み、ヒゲくさなどという皮膚病になる皮膚弱族の救いの神は電気カミソリです。機種を選ばないと角膜を落とすものもあるそうです。

大型連休

お勤めのご主人ですと、四月の終りごろから始まり、この五月にかけての連休を、どうお過ごしでしょうか。



行楽シーズンです 過速運転は事故のもと

こんど休みになつたら、と、お子さんとの約束は必ず実行してください。お母さんはあまり当てにはしていないにしても、お父さんはいつも口ばかりという不信感をとり除くために、こどもとの約束は守るように口添えしてやりましょう。お子さんは、もう何週間も前から、この日つれて行つてもらえる期待をもちつづけていたのです。この期待を裏切つたら、お父さんはウツつきのレッテルをはられてもしかたありません。お父さんは、この日、出かけられないほどの雨が降つてくれればいいが、と、お考えでしようけれど、もし雨が降つたらどこにすると、二段がまえの約束をしておいてください。もしそれができな約束はなさらないことです。

「人の命」

今日もまた交通事故が起きています。そして何人、何十人という尊い人の生命が失なわれている。年間に交通事故で死んでいく人は戦争中のある年より多いという。現在も車という殺人兵器で血まなこになつて殺し合つているといふのであろうか。なぜそんな馬鹿なことを、スピードオーバーによる事故の発生が多いと聞く、法定速度プラス10kmが速度規制とか？昔を思い起してもらいたい。江戸から京都まで一ヶ月近くかけて歩いていたのに今では一日足らずで行く事ができる。文明という名の便利屋に命を大切にすると、いう心まで売り払つてしまつたのか。なさない現代人よ、君達の力で直すことはできないのか。酒を飲めば人間の知覚や反射機能がマヒする位は誰でも知つているはずである。それをのこ酒を飲んで精神的異常者となり車という凶器で人を殺そうとする。このような気遣いをこの世からまつ殺しなればならない。今この時代に生きる人間として何代か後の時代に生れる人間にあっては、何代か後で馬鹿が多かつたのだらうと言われたくない。

「外野席から」

みなさんが今何げなく読んでおられる「外野席」いわみざわ。がいつたいどのようにして出来たのか考へて見たことがありませんか。この「外野席」が出来たまでのことを私なりにご紹介いたします。まず、第一曹、仕事でやらされていふことですが、この「外野席」を出すため日夜努力している。まず、原稿集めをし、カゲの声、「一だんどん」出して下さい。「次に自分ではアイブが打てないので人に頼み、それからこの「外野席」うまく配列するためバズルを組み立てるようにならべます。ただならべたのでは面白くないのでマンガあるいは記事の人れかえなど、その組み立てはキエーブをみです。六面出来た物を部隊にはない印刷工場へお願いに行きます。手土産を持ち、頭を四つ五回さげるとかわいひ女性がつつこりわらつてやってくれるそうです。こうして出来たのがこの「外野席」なのです。今世の中は、まさに情報化時代です。新聞・雑誌・テレビ等多用化されていますがそれが出来るまでのことを考へて見るのもまた違つた面々面白ひものであり情報正しく判断する力もつくのではないでしようか。

本部中隊 二尉 白井純夫

本部中隊 二曹 中田賢二

四月六日、四月十五日「春の交通安全道民総ぐるみ運動」